

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000250
事業所名	サポートハウス東名ながくて

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 共生型社会の建設を目指す官民一体の「共生ステーション」に、職員と連れ立って利用者が出かけている。 そこで催されている体操教室に参加したり、簡単な健康チェックを受けたりもできる。 散歩の途中で立ち寄った保育園児との交流もある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月に1度の運営推進会議には、利用者を囲んで市・長寿課職員、地域包括支援センター職員、複数の民生委員等、多彩なメンバーが参加している。 毎回、詳細な議事録が作成されており、出席者がそれぞれの立場から意見を出し、有効な意見交換が行われていることがうかがわれる。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市が中心となって、口腔ケアの研修が行われている。より多くの職員が受講できるようにと、講師（歯科衛生士）が各ホームを訪問して指導する方法が取られている。 6名の生活保護受給者が入居していることから、市・保護係とも緊密な連携関係を築いている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 今年度の運動会は、利用者の中からキャプテンを選出し、利用者の意見を取り入れた利用者主体のプログラム構成とした。 利用者の意見・要望から、「名古屋競馬場行」が実現した。他ホームの利用者も帯同し、懐かしい昔が甦る一日となった。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	